



令和2年7月1日
九州地方整備局
大分河川国道事務所

令和元年(2019) 大分川・大野川水系水質調査結果

～ゆるやかに改善傾向～

- 環境基準（BOD75%値）は、9地点全てにおいて環境基準値を満足
- ダイオキシン類は2地点において、環境基準値の1／2である要監視濃度を満足

記

・令和元年に一級河川大分川・大野川水系の国管理区間において実施した9地点の水質調査結果等の概要をとりまとめました。

・令和元年における大分川水系（5地点）、大野川水系（4地点）の水質（BOD75%値）は、全ての観測地点において環境基準値を満足しています。

・ダイオキシン類については、2水系2地点において調査を実施し、水質・底質ともに、環境基準値の1／2である要監視濃度を超過した地点はありませんでした。

・令和元年の水質事故発生件数は12件となっており、油類の流出による件数が10件、その他の件数が2件でした。

・九州での水質現況結果は、九州地方整備局ホームページを参照ください。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 大分河川国道事務所 技術副所長 猪原 浩二

調査第一課長 小野 富生

電話：097-544-4167

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>

ツイッター https://twitter.com/mlit_oita

令和元年（2019）大分川・大野川水系の水質現況

1. 水質調査結果

水質汚濁に係る環境基準の「生活環境の保全に関する基準」において、河川の水質を表す一般的な指標である BOD(生物化学的酸素要求量)の分析結果は下表に示すとおりです。

河川の水質は、下図のとおり代表地点における経年変化をみると穏やかな改善傾向にあり、良好な水質が保たれています。

水系名	河川名	地点名	類型	BOD75%値	環境基準値
大分川	大分川	明礪橋	A	0.8	2.0
		府内大橋	A	0.7	2.0
		広瀬橋	B	0.9	3.0
		弁天大橋	B	0.9	3.0
	七瀬川	光吉	A	0.5	2.0
大野川	大野川	白滝橋	A	0.5	2.0
		鶴崎橋	A	1.6	2.0
		家島	A	1.1	2.0
	乙津川	海原橋	A	1.2	2.0

表-1 令和元年 BOD75%値

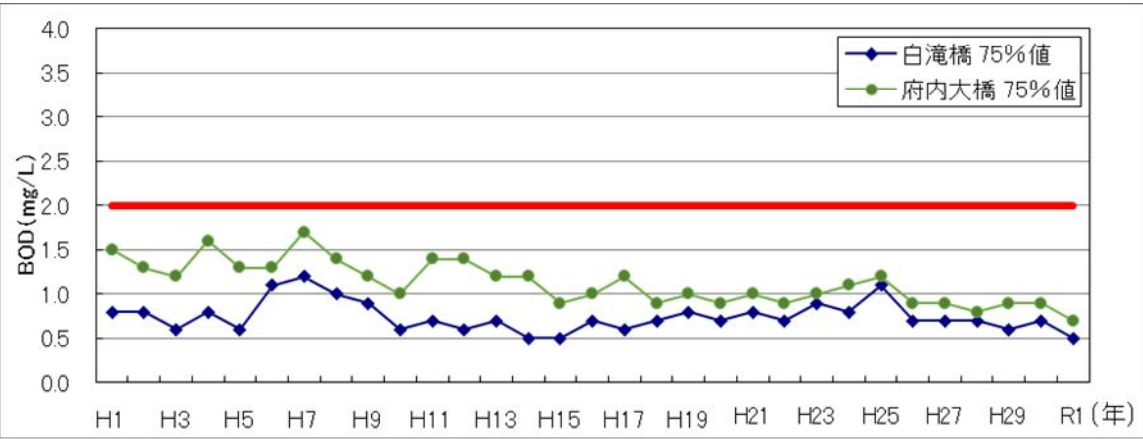


図-1 BOD75%値 経年変化

※河川における類型毎の環境基準（BOD75%値）

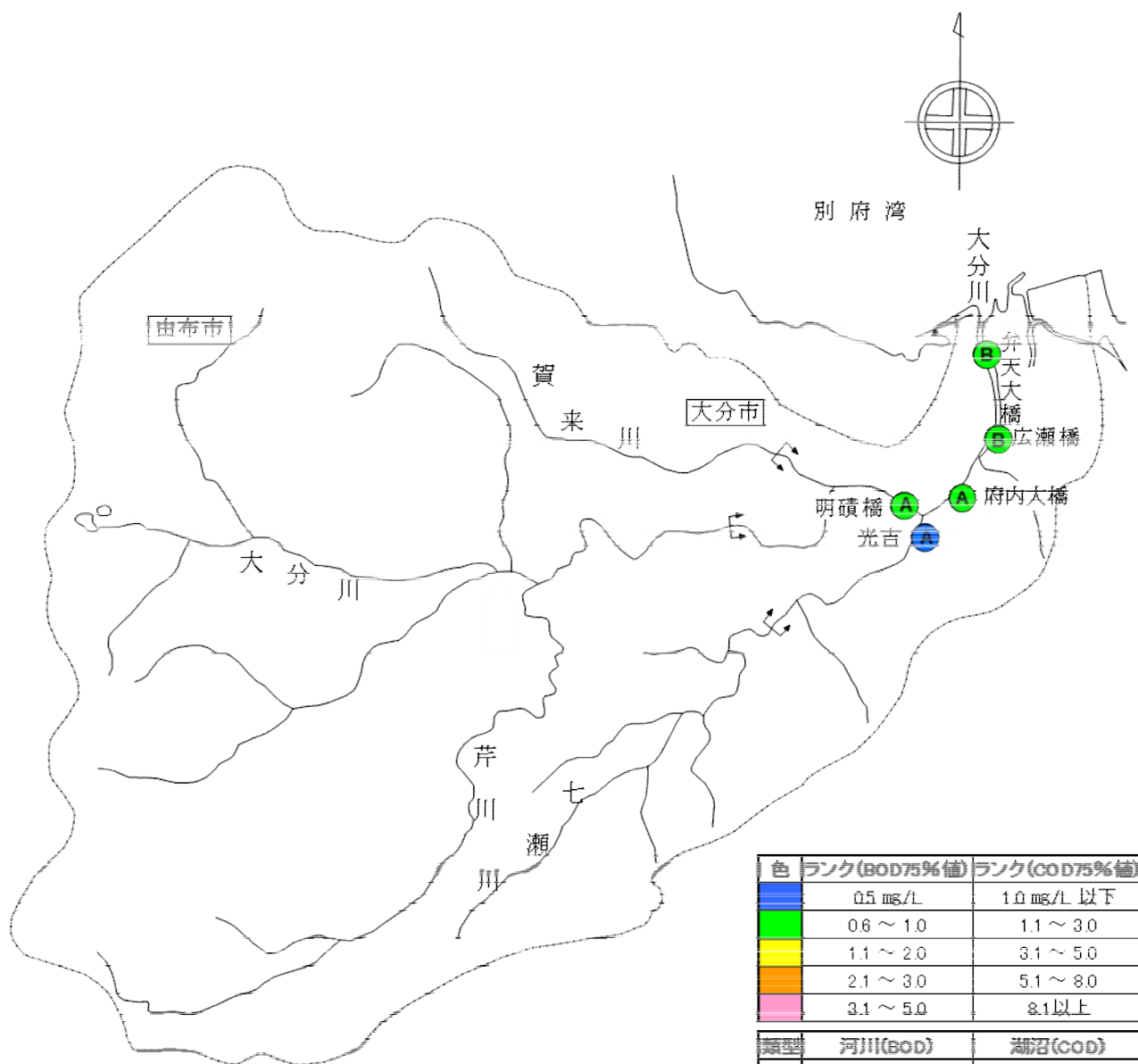
AA 類型：1mg/l、A 類型：2mg/l、B 類型：3mg/l、C 類型：5mg/l、D 類型：8mg/l、E 類型：10mg/l

※BOD における環境基準の達成状況の判定

測定年のデータの 75%値が基準値以下である場合、当該測定地点において環境基準を達成していると評価しています。例えば、月 1 回測定の場合、12 個/年のデータのうち水質の良い方から 9 番目の値（12 個×0.75）が 75%値となります。

大分川

流域面積 650km²
 幹線流路延長 55km
 流域内人口 約253千人



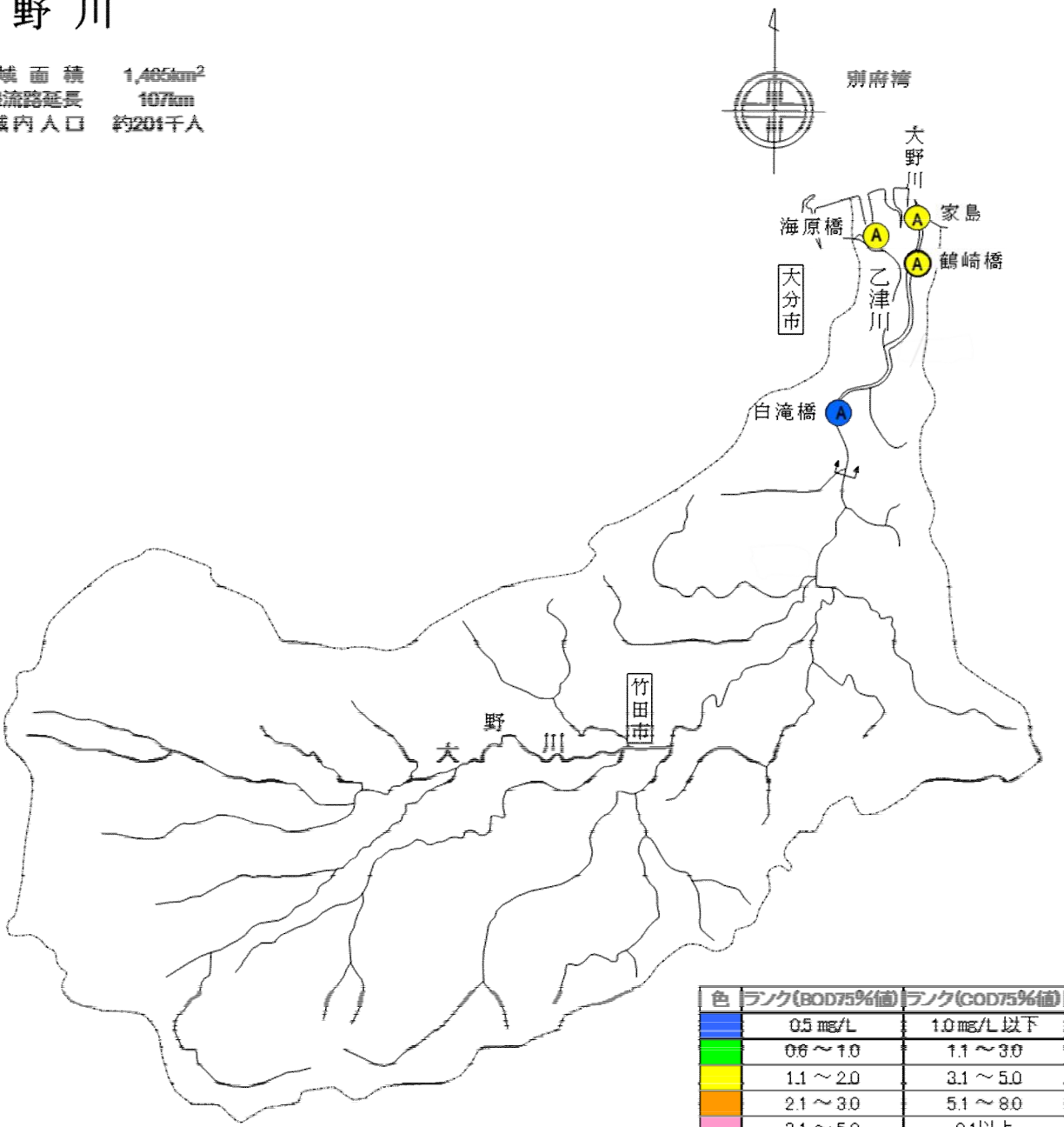
色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1 以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
-	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。

大野川

流域面積 1,465km²
 幹線流路延長 107km
 流域内人口 約204千人



色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
青	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
緑	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
黄	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
橙	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
赤	3.1 ~ 5.0	8.1 以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
-	類型未指定	

1. ○内の色はBOD75%値のランクを指す。
2. □内の色はCOD75%値のランクを指す。
2. ○及び□内の記号は、基準基準の類型である。
3. ○及び□は基準基準を満足していない地点である。

2. 水生生物調査

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識していただくため、小中学生等の参加を得て、水生生物による簡易な水質調査を実施しています。

令和元年は、大分川水系で3地点、大野川水系で6地点の調査を延べ509名の参加を得て調査し、「きれいな水」が6地点、「ややきれいな水」が3地点と判定されました。

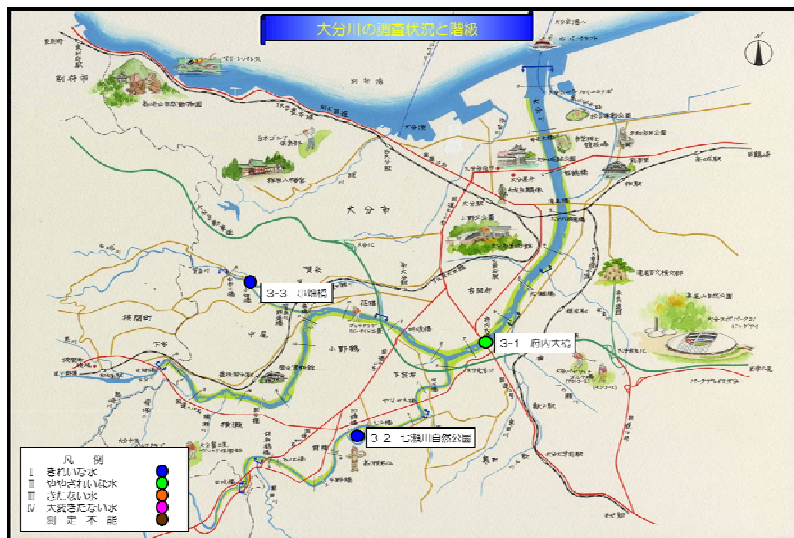


図-2 大分川水系 水生生物調査結果



図-3 大野川水系 水生生物調査結果

3. ダイオキシン類実態調査

ダイオキシン類については、2水系2地点（府内大橋・白滝橋）において調査を実施し、水質・底質ともに、環境基準値の1/2である要監視濃度を超過した地点はありませんでした。

ダイオキシン類の環境基準値

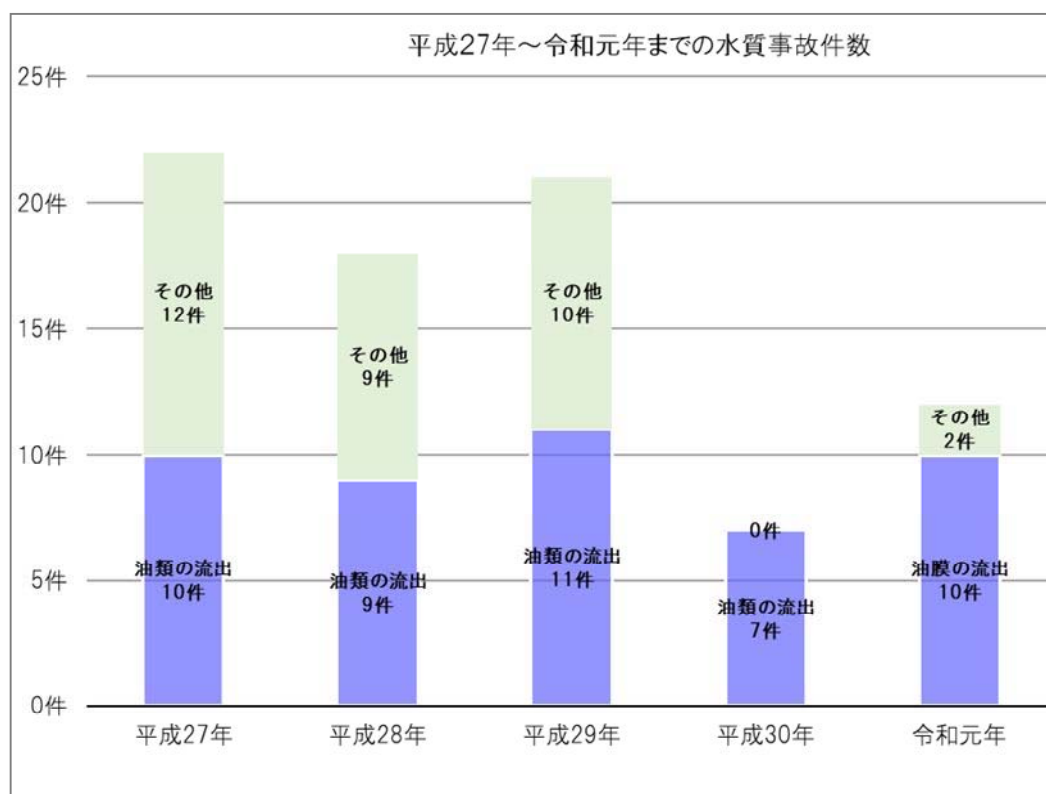
水質：1pg-TEQ/ℓ 底質：150pg-TEQ/g

4. 水質事故

令和における大分川・大野川水系に関連する水質事故は12件発生しています。

事故発生時の対応については、河川管理者と関係機関により構成される「大分川・大野川水質汚濁防止協議会」を設置しており、情報の収集、通報を行うとともに関係機関の協力をものとし、オイルフェンスや吸着マットの設置等の緊急措置を講じることにより、被害を最小限にとどめる体制をとっています。

今後も引き続き水質保全を図るために、関係機関と連携してまいります。



5. 水質データ（速報値）の公表

・九州地方整備局ホームページの下記サイトにおいて、大分河川国道事務所が測定する調査地点について、毎月の水質データ（速報値）を公表しています。

大分川 : http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/suisitunew/sui_ooita.html

大野川 : http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/suisitunew/sui_oono.html